

人生は苦(九)とせず、八正道で行きましょう

- ◎お釈迦様は『人生は苦(思ひ通りにならない)である』と説かれました。八正道は、正しい『見方・意志・言葉・行い・生活・努力・考え方・想像』の8種類の修行です。
- 1 人間は『自分の思い通りにしたい』の願い(我欲)を叶えようと、神仏に祈ります。合格祈願・商売繁盛など、『自己中心の考えが人間の本能』であり、我欲が叶えられない時は、『神も仏もあるものか』などと、恨んだりします。
- 2 浄土真宗(門徒)は願い事をせず、煩惱具足(常に我欲一杯)・罪業深重(罪深い)の私と、厳しく自分を見つめ(内観)、「正しい方向(八正道)」へ向かってくればよ」との、阿弥陀仏(如来)の願いを聞いて行くのが『真宗門徒』の在り方です。
- 3 お経は呉音(魏・蜀・吳の三国志)なので自然を『じねん』と読みます。①無為自然=ありのまま・真実・真理。例、種から育つた桜の木に桜の花が咲くように、『縁起の道理』の意味です。②業道自然=物心がついいたら『私は男(女)だった』などです。人間は、男や女として頂いた命を素直に受け取れず、草・木・野生動物には無い『煩惱(欲・腹立ち)=ストレス』があり、貪欲・瞋恚・愚痴が出たりします。
- 4 「念佛」とは、例えば自然界の法則・真実である生・老・病・死から逃げず受け入れるしかないと決心する事です。『私の体内にある阿弥陀仏(如来)と共に、苦難を乗り越えよう』と念佛すれば、『除災・招福=鬼は外・福は内』は不要です。
- 5 人間は3回の誕生が重要です。(1)生年月日の誕生=動物本能そのまま。例、『狼少女』。(2)成長に伴い知恵(煩惱)がつき、多数の先生・友達・社会の人々などに助けられて一人前になるが、自分の価値・判断(物差し)を作ります。(3)『極楽』は心(この世)にあり(謬)で、生きている今・極楽浄土(極めて樂で、争いを水で洗い流した争いの無い世界)に往生する=現生正定聚(親鸞聖人の教え)です。
- 6 『実るほど・頭の下がる・稻穂かな』で、『私は未熟だった』と自覚し・頭が下がり、『無数の縁(条件)により、今の私が有るのだ』と気づき・感謝すると、喜びホルモンのセロトニンが脳から多く出ます。また、お釈迦様の教え『無財の七施=優しい目・和顔・愛語・手助け・心遣い・席を譲る・我が家に招くの7つ』で人々が喜ぶことキリストンが多く出ます。この『田利利他』が本当の『幸せ』なんです。